

理学部・理学研究科の学生の皆さんへ

後期試験が終わり、多くの皆さんが、次の学年での新たな勉学の計画を考え始めているところかと思います。令和3年度前期の授業は、現在の活動制限レベル2-がレベル1になりますと、原則、対面で実施されます。それに関連して大事なことを伝えます。

まず、理学部では、100人を超える多くの学生が受ける授業がいくつもありますが、そういった授業を含めて、学生の皆さんがすべての授業を安心して受けられることを最優先して、次年度の授業の準備をしています。理学部の教育理念である「緩やかな専門化」のもとで、自身の進みたい分野を見つけるために幅広い科目を履修する人も少なくないと思います。新型コロナウイルス感染症の拡大の不安が消えない中で新学期を迎えることになりますが、勉学の幅を狭めることなく学業に励むことを期待しています。

皆さんの中には、対面での受講に困難を感じる人もいるかと思います。そのような学生諸君に対しては、十分な配慮をします。すでにメール等で連絡が届いていると思いますが、全学のルールに沿った第1回目の調査を開始しているところです。

令和3年度前期も理学部・理学研究科の授業は全学の基本方針に沿って実施されますが、細かい点では、全学共通科目（国際高等教育院提供）の授業とは対応が異なってくるかもしれません。全学共通科目については、国際高等教育院からの通知をよく読んでください。

なお、現在は授業のない期間ですが、これまで同様、発熱や、新型コロナウイルス感染を疑う症状を発症した場合は、健康保持と感染拡大防止のため、保健所やかかりつけ医に相談すると同時に、経過観察表などを利用して「直接の連絡先」（学部1、2回生及び系未登録学生にとっては学部教務掛）への体調の変化の報告をお願いします。

理学部教育委員長／理学研究科教育担当副研究科長 田口聡
2021年2月15日

1. 自主ゼミ

レベル2-では、対面では実施できません。

2. オンライン授業視聴場所の情報と関連する注意事項

後期試験、フィードバック期間も終わりましたので、視聴室は閉鎖しています。次年度の詳細については追って連絡します。

3. 研究上必要となる出張について

所属専攻での許可が必要となります。

4. 困った時の相談窓口

これまでと変更はありません。何か困ったことがあれば、以下に相談してください。

授業や学習に関すること：授業担当教員，学部／大学院教務掛，各専攻の教務掛

メンタルな悩みなどについて：少人数担任，理学研究科相談室

理学研究科活動制限ガイドライン等

<http://statphys.scphys.kyoto-u.ac.jp/covid/>